

2019年度 都道府県育成センター 計画・報告の流れ

JBA 技術委員会ユース育成部会

都道府県育成センター(以下PBA.DC)の計画から実行、そして実施報告・経費処理に至る流れを以下のように示しました。

計画

「1 事業規模を決定する」

- ① カテゴリー
U12U14U16を基本にして、U11U13U15も追加できます。
- ② 地区DCの区分け
地区DCの数を決定する。
- ③ 実施回数
各单位(ひとつのDC単位のこと)の実施回数の基本は月1回、年10回です。
トライアウト、交流事業(他カテゴリー・他地区・都道府県)等の日程を追加して作成します。

【例】

	U11		U12		U13		U14		U16		少年男女 団体
	4地区	県	4地区	県	4地区	県	4地区	県	4地区	県	
4	Tryout(推薦+公募)		Tryout(U11推薦+公募)		Tryout(U12推薦+中学推薦+公募)		Tryout(U13推薦+中学推薦+公募)		Tryout(U14推薦+中学推薦+公募)		2018, U-18
5	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)		
6	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)		
7	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)		団体Team活動
8	4地区+BWU11対抗戦		4地区+BWU12対抗戦		4地区+県選抜+BWU13対抗戦 選手入替等		4地区+県選抜+BWU14対抗戦 選手入替等		2016,U16+Test Match 選手選考・入替等		団体Team活動
9	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	団体Team活動
10	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	団体Team活動
11					練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	
12	4地区+BWU11対抗戦		4地区+BWU12対抗戦		4地区+県選抜+BWU13対抗戦		4地区+県選抜+BWU13対抗戦		練習会(1回)	練習会(1回)	
1	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	
2	練習会(1回)	北信越交歓会	練習会(1回)	北信越交歓会	北信越交歓会		練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	
3	練習会(1回)		練習会(1回)		練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)	練習会(1回)			

「2 PBA.DC開催要項・運営要項等を作成する」

① 開催要項・運営要項

PBAユース育成委員会はPBA確認の下、JBA技術委員会ユース育成部会が提示した「2019 U12/U14/U16DCガイドライン」を参考DC開催要項・運営要項を作成する。

【例】

2019〇〇県育成センター(U11~U16) 開催要項

1, 目的
JBAが目指す世界に通用するバスケットボールのために「世界基準を日常に取り入れる」「世界を目指す環境」「世界を視野に入れた指導を日常から行う」という強化・育成方針を示している。これに基づき、将来日本代表となる優秀な素質を持つ選手や可能性の高い選手に定期的に良い育成環境(練習環境・指導環境)を提供し、個を大きく育てる。合わせて指導者の研鑽の場として指導者を養成する。

2, 名称
〇〇県育成センター (Development Center =略称 DC)
事業単位: 〇〇県選抜育成センター (〇〇県U●●DC) ・4地区育成センター (●信地区U●●DC)

2019〇〇県育成センター(U11~U16) 運営要項

1, 運営要項の目的
育成センター活動の目的達成と同時に安全・安心を確保した運営のため、運営要項を定める。
各カテゴリーの長野県選抜育成センター・4地区育成センターの実施要項も本要項を基に作成する。

2, 運営スタッフ

② 旅費・日当・謝金等の規程

以下の支払においては、支払根拠となる規程を確認・作成する。

- ① 交通費、宿泊費および日当を支給する旅費交通費
- ② 審判謝礼または講師謝礼等の諸謝金

都道府県協会の全体／共通の規程ではなく、DC独自の規程／基準を作成することもできます。
ただし、その場合はPBA理事会にて承認を受けてください。
※ 遠隔地や離島を含む都道府県の場合、選手に対して交通費の補助を行うこともできます。

【例】

2019〇〇県育成センター(U11~U16) スタッフ旅費規程

指導スタッフ(コーチ) および運営スタッフ(全体総括及びカテゴリー総括マネージャー) に対して、以下の規定により旅費を支出する。

1, 交通費規程
一般社団法人〇〇県バスケットボール協会旅費規程に準じた旅費とする。

- ① JRおよび私鉄
 - ・自宅最寄駅から会場最寄駅
 - ・特急乗車の場合、70km以上 (領収書必要)
- ② 自家用車
 - ・ガソリン代: 自宅から会場までの距離km / 8km(1L) X 140円
10円未満は切り捨てとする。
 - ・高速道路代(有料道路代を含む): インターチェンジ間が35km以上の場合

※、信州プレイウォリアーズユースコーチは上記規定から除外する。

2, 旅費雑費(日当)規程

- ① 育成センター活動 2,000円/日
- ② コーチ研修会 1,000円/日
- ③ 諸会議 1,000円/日

一般社団法人〇〇県バスケットボール協会
2018年(平成30年)3月

「3 総括・コーチを決定する【Who】」

事業規模に合わせて総括・コーチを決定する

- ① 全体総括（PBAユース育成委員長が望ましい）
- ② カテゴリー総括
- ③ コーチ（単位ごとに3名程度配置する）

【例】 総括スタッフ

NO	Categ.	男子			女子		
		氏名	所属	License	氏名	所属	License
1	全体	圓山正明	松本筑摩高校	A	圓山正明	松本筑摩高校	A
2	U11	荻原秀則	長野湯谷	C	松山一郎	川中島籠球倶楽部	C
3	U12	伊藤光子	川中島籠球倶楽部	C	松山一郎	川中島籠球倶楽部	C
4	U13	倉科 高志	塩尻市立広陵中学校	D	倉科 高志	塩尻市立広陵中学校	D
5	U14	三澤 裕美	箕輪町立箕輪中学校	D	三澤 裕美	箕輪町立箕輪中学校	D
6	U16	奥原貴彦	松本深志高校	B	江取大介	上伊那農業高校	B

Coach

NO	Categ.	別	男子			女子		
			氏名	所属	License	氏名	所属	License
1	U11	Main	荻原秀則	長野湯谷	C	小澤 公一	松本西部	C
2		Sub	秋山浩	箕輪ミニバス	C	松山一郎	川中島籠球倶楽部	C
3		Manag.	伊藤 光子	川中島籠球倶楽部	C	上口 義雄	松本筑摩	C
4	北信	Main	立原博之	若穂	D	滝澤芳幸	若穂	D
5		Sub	吉澤慎一郎	城東	D	原田 和美	大豆島	D
6		Manag.	渡辺 研吉	長沼	C	山本 桃子	湯谷	E2

「4 単位別日程表を作成する【When,Where】」

各単位ごとに日時と場所を決定する

【例】

NO	県or地区	カテゴリー	男女	月	日時	場所	備考
例	県	U13	男	4	2017/4/23 9:00-12:00	松本市総合体育館	
1	北信	U12	男子	4	2018/4/21 9:00-12:00	長野市立共和小学校	
2	北信	U12	男子	5	2018/5/12 9:00-12:00	長野市立共和小学校	
3	北信	U12	男子	6	2018/6/9 15:00-18:00	長野市立共和小学校	
4	北信	U12	男子	7	2018/7/14 9:00-12:00	長野市立共和小学校	
5	北信	U12	男子	8	2018/8/11 9:00-12:00	長野市立共和小学校	
6	北信	U12	男子	9	2018/9/15 9:00-12:00	長野市立共和小学校	
7				9	2018/9/29 8:00-17:00	堀金総合体育館	4地区対抗戦

「5 経費項目」

経費項目を列記してみる

列記例	D-fund該当項目	D-fund該当項目外
スタッフ	交通費・宿泊費(特別な場合)・日当	保険代、ウェア代、懇親会費
	会議の旅費、会議の弁当代・飲料代	PBA役員視察時の旅費・日当・弁当代、
	交流戦における審判員の交通費・日当	特別講師の謝金
選手	交通費・宿泊費(特別な場合)	保険代、飲料代、テーピング代、
賃借料	会場賃借料(DC・会議)	保護者の交通費・宿泊費、資料のコピー代
通信運搬費	通知文書のための紙・インク・切手代、ペン等文房具	ボール、ビブス、TOセット、デジタイマー
消耗品費	ラインテープ、リングネット	救急箱と医療品、プログラム作成費
支払手数料	支払手数料(振込手数料)	事務処理に必要なPC・プリンター購入費
		撮影用デジタルカメラ借用料

「6 収入を考える」

財源として、選手参加料・スポンサー収入・PBAからの予算化・totoくじ助成金・D-fundがあります。これを組み合わせて予算化する。

パターン	選手参加料	スポンサー収入	PBAからの支出	totoくじ助成金	D-fund
1	◎				
2		○			
3	◎				○
4	◎			○	
5	◎	○	○		
6	◎	○	○		○
7	◎	○		○	
8	◎	○			○
9	◎		○	○	
10	◎		○		○
11	◎	○	○	○	

※ スポンサー収入・PBAからの予算が多額でD-fundを利用しない場合は、選手参加料を徴収せずに実施することも可能です。

「7 経費項目別に予算を作成する」

PBAユース育成委員会は事業規模と収入に合わせて予算を作成し、PBAの承認を得る。

- ① 経費項目を類別する
PBA.DCとして該当する経費項目を選別する
- ② カテゴリー別県地区別に経費項目を試算する

[予算案例] U14県・地区DC

項目	金額	摘要(内訳) / 備考
1.会議費	88,800	旅費：全体総括1名マネジメント3名X5500円X3回 日当4名X1000円X3回 78000円 弁当代：900円X4名X3回=10800円
2.旅費交通費	1,836,000	コーチ研修：コーチ・マネジメント33名X5500円X1回 日当33名X1000円 214500円 地区：コーチ24名X1500円X10回 日当24名X2000円X10回 840000円 県：コーチ6名X5500円X10回 日当6名X2000円X10回 450000円 北信越交流会 コーチ6名X15000円 日当6名X2000円X2日 宿泊代 6名X10000円 174000円 マネジメント：視察マネジメント3名X5500円X7回 日当3名X2000円X7回 157500円

※1 D-fundを使う場合

※「JBA D-fund、8-3. ファンドA交付金対象経費基準等規程」参照

- ① 活動単位における交付金申請額の上限設定……U12/U14/U16育成事業 対象総事業費の40%以下
- ② 「JBA・D-Fund申請要項、7. 交付 対象経費 / 対象外経費 および 証拠書類(領収)の注意点等について」並びに「JBA・D-Fund A 交付金対象経費の基準」があります。

※2 JBA技術委員会ユース育成部会「2019 U12/U14/U16DCガイドライン」6.支出規程

JBA技術委員会ユース育成部会として一般的な支出規定を設けています。

スポンサー収入やPBAからの予算が多額な場合は、この支出規程から外れる予算計上も可能です。

「8 計画書を作成する」

① 実施計画書

事業規模等をまとめて実施計画書を作成します。

実施計画関係

JBA ユース育成部会
DC実施計画書書式【書式1】
※ PBA
DC実施計画書

1,JBA ユース育成部会DC実施計画書【書式1】

DC全体の計画書です。

2,PBA実施計画書

PBAが実施計画を求める場合は別途実施計画書を作成してください。

(D-fundを利用する場合の実施計画書はありません。)

② 収支計画書

カテゴリー別県地区別に経費項目の収支計画を作成する。

収支計画関係

JBA D-fund
【様式1-2①】申請額区分別収支予算計算表
【様式1-2②A】活動別収支予算書
※ PBA
DC収支計画書

1,JBA.D-fund収支計画書関係

利用する場合は、D-fund規程に従い支出計画を作成します。

2,PBA収支計画書

PBAが収支計画を求める場合は別途収支計画書を作成してください。

(JBA ユース育成部会の求めるDC収支計画書はありません。)

「9 計画書の提出」

1 JBA ユース育成部会DC計画書【書式1】

PBAユース育成委員長が直接JBAに提出します。(前年度の2月末まで)

(※ JBA技術委員会ユース育成部会はJBAのオフィスではJBA基盤強化グループ育成普及担当が担っています。)

2 D-fundを利用する場合の計画書

PBAを通して申請します。

3 PBAへのDC計画書

必要に応じてPBAに提出します。

「1 単位別DCに実施後、実施報告と収支報告を行う」

単位別DCのスタッフは、カテゴリー別総括に実施報告と収支報告を行う。

【例】 実施報告兼収支報告書例

2019年度 ○○県育成センター実施報告書

□ 開催概要

県/地区	中信	カテゴリー/男女	U13女子
開催期間	4月22日(土) 9:00 - 12:00		
参加人数	スタッフ: 14名	選手: 24名	合計: 38名
会場	名称/所在地	〒390-0801 松本市美須々々5-1	
連絡担当者	氏名/所属	園山 正明 長野県松本筑摩高等学校	
	自宅	TEL: 0263-77-6503	FAX: 0263-77-6503
	携帯/MAIL	090-8326-8860 gnzan@tagano-c.ed.jp	

□ 実施内容

1.Pre workout
2.3人組 Meet-Drive & Shot
①Euro Step
②Jump penetration
3.Floaters Dribble & Attack Drill
①Cross over Dribble
②Speed Cross over Dribble
4.Full court Ion1
5.2men automatics
6.3men motion automatics
7.2on2 Middle Drive & kKok Drill
8.3on3 Drive & Kick Drill
9.4on0 cone drill
10.4on4 +1 Drive & Kck(live)
11.Scramble close out(5対5)
12.3on3 Transition Defense Drill
13.5on4 Fastbreak Motionautomatics
14.Ball Screen Defense
15.Box out Drill
16.Scrimmage 6min. Games

□ 実施報告

*選手の自主性を点を強調しながら指導に当たった。
練習初日であり、各種のDrillに対して完成度は低い
2回目以降の練習会で制度を上げたい。
選手の中に意識の低い者がいたが、リーダーを決めて
雰囲気の高揚に努め、効果があった。
保護者への協力について簡単にアナウンスを行った。
次回までの課題を明確にし、日頃の練習に生かすよう
指示した。期待したい。
準備を含め、松本市協会技術委員会の協力を得たことに
感謝したい。また、特別にラインテープを購入した。
技術的各論についての疑問点はダイレクターに確認を
希望いたします。よろしくお願いたします。

□ 特記事項(怪我等の報告)

*Scrimmageにおいて、山本正子(山中中学)がリバウンドの
着地において右足首外反捻挫を起こした。
RICE処置としてアイシングを行い、会場にいた保護者に
医師の診察を受けるよう指示し、かつその報告をこの
マネジメントである園山まで報告するように確認した。
※ 必要に応じて保険適用をU14総括で行ってください。

□ 支出報告

科目	支出額
旅費(交通費)	9,000
旅費(宿泊費)	
借換料	5,000
消耗品費	520
印刷製本費	
通信運搬費	246
会議費	
雑役務費	388
その他	
合 計	15,152

□ 支出明細書

科目	月日	支払先	内容	支出金額	領収書No.
旅費(交通費)	4/13	コーチ3名	選手旅費	9,000	1
旅費(交通費)					
借換料	4/13	公益財団法人 松本市体育協会	会場利用料	5,000	2
消耗品費	4/13	○○スポーツ	ラインテープ	520	3
印刷製本費					
通信運搬費	4/13	日本郵政	コーチ3名X82円	246	4
会議費					
雑役務費	4/13	八十二銀行	振込手数料	388	5
その他					
合 計				15,152	

参加報告書例

2019年度 ○○県育成センター参加報告書
指導スタッフおよび参加選手

県/地区: 中信 カテゴリー/男女: U16男子 実施日: 2018年4月22日

□ スタッフ

NO.	氏名	所属チーム	役職	ライセンス	ライセンス番号	出欠席
e.g.	JBA 太郎	●立●●小学校/●●ミニバス	県●●メインコーチ	県●●メインコーチ		○×
1	伊藤 翔一	開志高校	中信U18男子メインコーチ	B	10011092	○
2	林 慎太郎	足石高校	中信U18男子サブコーチ	A	10011093	○
3	園山 正明	松本筑摩高校	中信U18男子マネージャー	A	10011094	○

□ 参加選手

NO.	氏名	所属チーム	学年	身長cm	ポジション	生年月日(西暦)	Team/PBAナンバーID	出欠席
e.g.	JBA 太郎	●立●●小学校/●●ミニバス	1	182	PG他	2017.1.1	501110000	○×
1	丸山 拓馬	開志高等学校	1	190	PF	1993.4.24	501114172	○
2	和田幸太郎	開志高等学校	2	205	PG	1994.3.4	503994756	○
3	津田 玄	開志高等学校	1	210	C	1994.5.29	500443861	○
4	祝 陽一	帝京山岡高等学校	1	180	SG	1994.8.16	501981217	○
5	北村 謙太	東海大学付属東京高校	1	191	SF	1993.11.16	500665192	○
6	絹瀬 公平	東海大学付属東京高校	1	221	PF	1994.4.9	505989894	○
7	板山 卓	東海大学付属東京高校	1	192	PG	1994.5.25	506219616	○
8	工藤 慎一	東海大学付属東京高校	1	177	C	1993.4.16	505918026	○
9	森田 淳	金沢市立商業高等学校	2	193	SG	1993.6.8	500320930	×
10	坂口 浩太	金山高等学校	1	198	SF	1995.3.12	500664390	○
11	小林 翔一	金山学院高等学校	1	203	PF	1993.3.20	501170009	○
12	森島 一期	北陸学園高等学校	1	188	PG	1994.2.18	503190697	○
13	工 陽太	高嶺商業高校	1	199	C	1995.11.8	501543532	○
14	経坂 広大	奥原第一高校	1	194	SG	1994.4.28	501380941	○
15	平崎 孟一	代々木工業高校	2	200	SF	1994.6.2	500712629	×
16	梶 康三郎	高元第一高校	1	190	PF	1994.5.1	504453721	○
17	高島 圭一	北南高等学校	1	181	PG	1993.11.4	503845411	○
18	若月 治郎	北南高等学校	1	170	C	1993.8.7	506351265	○
19	坂本 翔	北南高等学校	1	210	SG	1993.5.8	506353764	○
20	山田 拓馬	筑摩高等学校	1	170	PG	1993.4.2	506353765	○
21								
22								

PBAユース育成委員長(DC全体総括)や各カテゴリー別総括は、各単位別DCを全て把握することが難しいこと、報告の基礎となるデータが必要なことから上記例のような報告書があると便利です。

この報告書(実施報告・収支報告・参加者名簿)に領収書を添えて総括に提出すると、総括はまとめ易くなります。

「2 カテゴリー別総括・全体総括は、実施報告と収支報告をまとめる」

① 実施報告書

各単位別DC実施報告書をまとめて、以下の報告書を作成する。

実施報告関係

JBA ユース育成部会
DC実施報告書【書式2】

JBA D-fund
【様式3-4_A】活動報告書

PBA
DC実施報告書

1,JBA ユース育成部会DC実施報告書【書式2】

DC全体の実施報告書です。

2,JBA D-fund【様式3-4_A】活動報告書

D-fundを利用した場合にカテゴリー別に作成します。

3,PBA実施報告書

DCはPBAユース育成委員会の事業であるためPBAへは報告の義務があります。(様式不問)

② 収支報告書

各単位別DC収支報告書をまとめて、以下の報告書を作成する。

収支報告関係

JBA ユース育成部会
DC収支報告書【書式3】

JBA D-fund
【様式3-2②~3-3_A】活動別 収支報告書・支出明細書
【様式3-2①_A】収支報告書集計表

領収書コピー

PBA
DC収支報告書

領収書原本

1,JBA ユース育成部会DC収支報告書【書式3】

D-fund利用の有無に拘らず、DC全体の収支報告を作成します。

2,JBA D-fund関係報告書

D-fundを利用した場合は、D-fund規程に従い支出報告を作成します

3,PBA収支報告書

DCはPBAユース育成委員会の事業であるため

PBAへは報告の義務があります。(様式不問)

※ 収支報告書をまとめる上で・・・【一般的な手順として】

JBA ユース育成部会、PBA、JBA D-fund(利用した場合)への収支報告は、DCに拘る全ての収支報告であるためひとつのフォーマットを作成して、それぞれの書式別に手直しをすると作成しやすくなります。

1, 支出細目と領収書の一致

2, JBA D-fund書式を利用してみる

JBA D-fundの2019年度版【様式3-2②A】活動別収支報告書、【様式3-3A】支出明細書、【様式3-2①_A】収支報告書集計表を利用すると便利です。

①カテゴリー別に支出細目を【様式3-3A】支出明細書に入力する。

②自動的に【様式3-2②A】活動別収支報告書に反映される。⇒カテゴリー別収支報告書が完成する。

③カテゴリー別収支報告書をまとめてDC報告とする。

JBA ユース育成部会DC収支報告書【書式3】は、JBA D-fund【様式3-2①_A】収支報告書集計表と類似しているため

JBA D-fund【様式3-2①_A】収支報告書集計表を作成してみる。(D-fund利用に拘らず)

3, 各種報告書式に合わせて作成する。

4, 領収書の管理

原本はPBAに提出します。D-fundを利用した場合は領収書のコピーをPBAを通してJBAに提出します。

※ 予算が余ったら・・・

支出が収入を下回って余剰金がある場合は、余剰金はPBAにて処理することになります。

【例】

	A	B	C
収入	D-fund	活動費(選手参加料)	スポンサー等収入
支出	支出額		PBAへ

※ D-fundを利用し、D-fund交付金が対象総事業費の40%を上回った場合は返金が必要になります。

「3 報告書の提出」

1 JBA ユース育成部会DC実施報告書【書式2】収支報告書【書式3】

PBAユース育成委員長が直接JBAに提出します。(4月末まで)

(※ JBA技術委員会ユース育成部会はJBAのオフィスではJBA基盤強化グループ育成普及担当が担っています。)

2 D-fundを利用する場合の報告書

PBAを通して報告します。

3 PBAへのDC計画書

PBAに提出します。

その他

「交流事業」

県(都道府)DCの活動として他県との交流戦(クリニック等を含む)は、育成環境の一環として実施することは可能です。

実施計画にあたっては予め対象PBA専務理事の承認を得て、計画、予算を立ててください。

また、実施にあたっては、以下の点に留意してください。(規程)

① 競技会とはしない

DCは基本的に競技会ではありません。DCの一環としてDCの目的に添う内容(活動)としてください。

また、主催は原則として開催地のPBAとしてください。

② 経費

a 旅費

PBA,DCの活動として予算計上します。

遠征費として参加者から別途参加料を徴収することもできます。

b 体育館借損料、審判経費等

開催県PBA,DCとして予算計上します。(各県からこの経費を徴収することもできます。)

c その他

PBA,DCの支出規定を遵守すること。